

いばらき女性活躍・働き方応援協議会の運営【茨城県】

総事業費	57 千円
交付金額	0 千円

地域の実情と課題

- ◆女性管理職割合は増加傾向にあるが全国的に見るとまだ低い
県内企業における女性管理職候補の育成(R1本県調査)
 - ・育成に取り組んでいない 約6割
- 県内の働く女性の就業への意識(R1本県調査)
 - ・将来管理職以上を目指したい7.3%
- ◆本県企業の大多数を占める中小企業への働きかけが必要
- ◆育児や介護により働きたくても働けていない女性がいる

目的・目標

- ◆目的
 - ・女性管理職の登用促進
 - ・働き方改革促進、女性の多様な働き方の推進
 - ・市町村における推進計画の策定促進
- ◆目標
 - ・いばらき女性活躍・働き方応援協議会会員企業数
:1, 200社(R7年度末)→763社(R4年度末)
 - ・市町村推進計画策定数:44市町村(同上)→43市町村(同上)

事業の特徴

- ◆女性管理職の登用促進に重点化し、企業及び女性自身に対し、登用促進のための働きかけや支援を行う。
- ◆現在の働き方の多様化に対応する企業の働き方改革の促進や、女性の新たな働き方に向けた支援を行う。

連携団体

「いばらき女性活躍・働き方応援協議会」
 構成団体:茨城県経営者協会、茨城県商工会議所連合会
 茨城県商工会連合会、茨城県中小企業団体中央会
 連合茨城、茨城労働局、茨城県社会保険労務士会
 茨城県

事業の効果

- ◆事業の効果
 - ・女性リーダー表彰やシンポジウムの開催により企業経営者や管理職の女性活躍に向けた理解が向上した。
 - ・女性管理職育成研修の実施により女性自身のキャリアアップに向けた意識向上、不安が解消された。
 - ・テレワーカー養成研修の実施により育児や介護との両立に悩む女性の就業を促進した。

今後の課題

- ◆女性の登用を促進するため企業経営者の意識改革と合わせて女性自身の意識改革や人材育成等の支援が必要
- ◆誰もが働きやすい環境づくりを促進するため、働き方改革の推進が必要
- ◆介護や育児等により働けても働けない女性や、コロナ禍で非正規雇用で働く女性の失業が増加していることから、デジタル分野の業務を在宅で行うことのできる新たな働き方の推進が必要

事業の概要

○取組概要

行政機関(国、県)、経済団体、労働者団体、社労士会、企業で組織する「いばらき女性活躍・働き方応援協議会」を運営し、県内企業における女性活躍及び働き方改革の促進を図るための方策を官民連携して検討するとともに、女性活躍推進に取り組む意欲のある企業等を会員とした登録及び見える化実施。



第1回幹事会における
企業の事例発表

○取組実績

【会議開催】

◆第1回幹事会

- ・日 時: 令和4年10月3日(月)
- ・場 所: 水戸合同庁舎
- ・出席者: 支援団体等(経済団体,労働団体等)
- ・内 容:

○建設業及び運輸業における働き方改革(2024.4に向けた取組等)について
県内企業に働き方改革の取組状況について発表いただき、意見交換を実施。

○女性活躍推進の取組について
国、県から、女性活躍の取組等について報告するとともに、県から女性管理職の育成を促進するため、各団体に協力を依頼。

◆第2回幹事会 書面開催

県女性活躍推進計画の進捗状況について

【会員企業数】・763社(R4年度末)